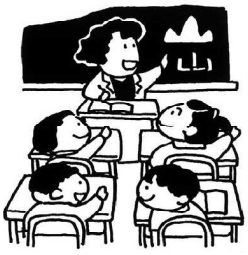




小中学校へのクーラーの早期設置と低所得者に対する暖房費の補助を求める要望書提出



日本共産党あきる野市議団は、本年1月28日、小中学校へのクーラーの早期設置を求める要望書と低所得者に対する暖房費の補助を求める要望書を市長と教育長、健康福祉部長宛に提出しました。クーラー設置については平成23年度までに学校の耐震化を終了させることが最優先課題となっているため、優先順位を検討しながら進めていきたい、また、暖房費の補助については今後検討していきたいとのことでした。以下要望書の全文をお知らせします。

平成23年1月28日

あきる野市長 臼井 孝殿

日本共産党あきる野市議団
戸沢 弘征
山根トミ江
たばたあずみ

小中学校へのクーラーの早期設置を求める要望書

世界的な異常気象の影響もあり、年々夏の猛暑は厳しさを増しています。しかし、市内の小中学校校舎は、いまだ冷房設備の整わないところが大部分を占めています。

記録的な猛暑の中、冷房のない教室で学習させることは、子どもたちの健康が心配されるところでもあり、また、学習意欲の低下も予想されます。

日本共産党東京都委員会と多摩地域の議員団は昨年11月、東京都知事宛に、公立小中学校の普通教室へのクーラー設置補助などを要請しました。クーラー設置についてまもなく整備が終了する23区と比べ、多摩地域は、財政基盤の弱さからほとんど設置が進んでいないことから、都に財政支援を求めたものです。あきる野市議団としても、クーラーの設置をすべきと21年度決算特別委員会の中などで要請してきました。

こうしたことを受け、この度、東京都から冷房設置に関して補助金が出ることとなりました。すでに武蔵野市や調布市、三鷹市など、独自に予算を組み、設置に取り組んでいる自治体も増えています。

当市でも、子どもたちの学習環境を守るため、全校舎にクーラーを早急に設置してくださるよう要望いたします。

平成23年1月28日

あきる野市長 臼井 孝殿

日本共産党あきる野市議団
戸沢 弘征
山根トミ江
たばたあずみ

低所得者に対する暖房費の補助を求める要望書

地球温暖化等の影響もあり、昨年の夏は連日猛暑日が続く中、熱中症で死亡する人も出るなど深刻な事態が起きました。また、今年の冬は、日本海側を中心に強い寒気をもたらした影響で大雪が降るなど厳しい寒さとなっています。東京では今のところ雪は降っていないものの厳しい寒さが続いています。

こうした中、とりわけ年金暮らしの高齢者や生活保護受給者などから、「病人がいるがこの冬の寒さで灯油代がかさみ生活が大変」との声が寄せられています。

厳しい寒さを何とか乗り越えていくためにも、収入が少ない方に対して、灯油代などの暖房費の補助を緊急に予算計上していただくよう要望します。



法律相談

2月23日(水) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。